

## 第三セクター等経営健全化方針

### 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和 5 年 3 月 10 日

作成担当部署 川内村産業振興課

### 2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 あぶくま川内

代表者名 代表取締役 横山 祐二

所在地 福島県双葉郡川内村大字上川内字小山平 501 番地の 1

設立年月日 平成 17 年 2 月 27 日

資本金の額 金 9,900 千円

【当該地方公共団体の出資額（出資割合）3,000 千円円（30.3%）】

業務内容 川内村温泉交流施設かわうちの湯、川内村いわなの郷、いわなの郷体験交流館、川内村農産物等直売所あれ・これ市場、ビジネスホテルかわうちの運営管理

### 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所の事故により、村内の交流施設においては、団体客や個人客等の利用者数も大幅に減少し、経営にも大きな影響を受けました。

平成 26 年度に、かわうちの湯が再オープンしてから令和元年度まで、各施設とも順調に売上を伸ばしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限やまん延防止重点措置等による利用者数の減少、施設の休業や営業時間の短縮、また、ビジネスホテルかわうちの稼働率の低下により、直近の会社全体の売上げは前年比 87.8%、22,735 千円の減少となりました。

各施設の前年比較では、日帰り温泉、レストランを主体とするかわうちの湯では、HP や SNS 等での情報発信の強化、新メニューや季節限定メニューなどの提供による新たなファン獲得を図り、前年比 103.6%、1,383 千円の増加となりました。

釣堀、幻魚亭（レストラン）、コテージ等を主体とするいわなの郷では、いわな料理を主体としたメニュー内容の見直しや季節限定、曜日限定メニューの提供、リピーターが多いキャンプ場の広報宣伝強化により、前年比 102.7%、724 千円の増加となりました。

村の特産品、農産物等を取扱うあれ・これ市場では、かわうちワインの販売やキャッシュレス決済の導入など利用者に寄り添った営業を行ってきたものの、前年比 90.1%、3,623 千円の減少となりました。

平成 24 年の開業以来、稼ぎ頭であったビジネスホテルかわうちは、長期滞在の工事関係

者等の減少により、平均稼働率が70%台から40%台と大きく低下し、前年比90.1%、17,798千円の減少となりました。（別表参照）

村からの支援としては各年度の決算後、経営状況を確認しながら助言・指導等を行ってきたところです。具体的には、各施設の指定管理料として、令和元年度18,000千円、令和2年度25,000千円、令和3年度25,000千円を委託料として支出するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に伴う補助として令和2年度に297千円、かわうちの湯照明器具更新に伴う補助金として令和3年度に2,639千円、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少に対し光熱水費の補助として令和3年度に1,200千円、燃油価格高騰に伴う公衆浴場への補助として令和3年度に993千円の補助を行ってきたところであります。

（別表）

施設別売上額比較表（単位：千円、％）

| 項目      | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 前年比   |
|---------|---------|---------|---------|-------|
| かわうちの湯  | 49,751  | 37,775  | 39,158  | 103.6 |
| いわなの郷   | 31,711  | 26,428  | 27,152  | 102.7 |
| あれ・これ市場 | 62,326  | 55,298  | 37,500  | 67.8  |
| ビジネスホテル | 30,161  | 36,612  | 32,988  | 90.1  |
| 指定管理料 他 | 29,271  | 30,593  | 27,172  | 88.8  |
| 計       | 203,220 | 186,706 | 163,970 | 87.8  |

#### 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

温泉交流施設かわうちの湯、いわなの郷、あれ・これ市場は、営業開始以来、村活性化の拠点として村民の憩いの場を提供するとともに、県内外からの誘客の促進を図り、交流人口の増加による村の活性化に寄与してきました。

各施設の運営は指定管理方式で事業者に依頼しているところ、一方で各施設は村の施設として村も施設運営に責任があることから、引き続き、第三セクターとして事業を展開するとともに、地域振興・活性化を図る必要不可欠な拠点施設であるため、各施設の現状と課題の分析を行い、経営改善に努めて行きます。

#### 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

温泉交流施設かわうちの湯、いわなの郷、あれ・これ市場は、本村の観光・交流拠点及び地域活性化の中心施設として位置づけられているもので今後も村は一定の支援を行っていきますが、各施設が自走に向けての経営改善を進めて参ります。そのため、各部門のあり方を抜本的に見直し、村づくりの拠点施設として、村内はもとより、県内外から多くの誘客に取り組み、交流人口の増加、売上額の増収増益を目指します。

施設の性格上、売上高確保だけを目的とした実施ではなく、全従業員の意識改革や経営への参画意識を高めて日々の経営改善を進めてまいります。

村としても財政リスクを抑えるため、早期に経営体質の強化を図られるよう定期的に点検・評価を実施し、決算後には経営状況の確認や実施事業を改めて評価をし、助言・指導を随時行うこととします。令和6年度には、経常黒字を目標といたします。

※令和5年度以降も指定管制度による施設の管理を委託予定です。

## 6 法人の財務状況

| 貸借対照表から | 項目                 | 金額（千円） |        |         |
|---------|--------------------|--------|--------|---------|
|         |                    | 平令和元年度 | 令和2年度  | 令和3年度   |
|         | 資産総額               | 53,955 | 96,099 | 59,363  |
|         | （うち現預金）            | 16,215 | 97,217 | 25,720  |
|         | （うち売掛金）            | 5,591  | 3,531  | 3,708   |
|         | （うち棚卸資産）           | 20,622 | 19,685 | 19,934  |
|         | 負債総額               | 39,911 | 91,639 | 75,869  |
|         | （うち当該地方公共団体からの借入金） | 0      | 0      | 0       |
|         | 純資産額               | 14,044 | 4,460  | △16,506 |

| 損益計算書から | 項目         | 金額（千円）  |         |         |
|---------|------------|---------|---------|---------|
|         |            | 平令和元年度  | 令和2年度   | 令和3年度   |
|         | 売上総利益      | 119,863 | 92,612  | 82,931  |
|         | 販売費及び一般管理費 | 166,091 | 150,102 | 151,514 |
|         | 経常損益       | △44,187 | △50,017 | △64,596 |
|         | 当期純損益      | △27,028 | △9,584  | △20,965 |